

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (19 101)

団体名	地域づくりパートナーズ	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 二宮 毅行
事業名	地域の活動団体・企業の“思い”を掴み、寄り添うためのアウトリーチ事業		

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
		スタッフ2名	NPO法人(以下「法人」という。)を個別に訪問、若しくは、電話による聴取による調査を実施し、実情と課題を把握した。
9/8 ~ 9/末	尼崎市内	スタッフ2名	訪問... 4件、 電話... 3件
10/1 ~ 10/末	尼崎市内	スタッフ2名	訪問... 15件、 電話... 1件
11/1 ~ 11/末	尼崎市内	スタッフ2名	訪問... 14件、 電話... 0件
12/1 ~ 12/25	尼崎市内	スタッフ2名	訪問... 8件、 電話... 1件
1/6 ~ 1/末	尼崎市内	スタッフ2名	訪問... 10件、 電話... 5件
2/1 ~ 2/末	尼崎市内	スタッフ2名	訪問... 9件、 電話... 5件 【合計】訪問... 60件、 電話... 15件

< 効果と成果 >

尼崎市内の法人は、その分野は障がい者を初め、子育て、環境、生活支援、防災など多岐にわたっており、この全ての分野の訪問を行い、「法人の周知」、「他法人との繋がり」、「役員(スタッフ)の高齢化」、「助成金情報の提供希望」など様々な課題を見聞することができたが、これらの課題は「尼崎市に特有」のものではなく、兵庫県下に存在するNPO法人についてもいずれかが該当するものと考えられる。

したがって、来期以降、上記課題の解決に向けた具体的な手法を構築することは、尼崎市のみならず、すべてのNPO法人にも大なり小なり有益なものと考えており、これらの手法については、兵庫県下他地域にある「中間支援を業務の目的とする法人」にも、適宜情報の共有を図っていく所存である。

< 今後の展望 >

法人には様々な課題があり、その中で多くの法人の抱える「各法人の周知を図りたい、事務的なスタッフが足りない。」ことについては、行政や「井戸端会議」等での周知と情報収集を断続的に行うとともに、「現役時代に会社の経理部門を経験し」、退職後に時間を持て余している男性などを対象に例えば「初めてのNPO法人会計」といった「複合的に課題が解決できるような」セミナーなど、創意工夫しながら、それぞれ取り組んでいく。

さらに、課題全般においては、企業側からすると「社会的貢献(CSR)」の観点で関われる内容も存在すると考えられ、来期以降、提起された課題を企業を訪問して提起していく。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	279,000
自己負担金等	850
合 計	279,850

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	印刷費	73,905	73,905
	消耗品費	30,958	30,958
	通信費	11,297	11,297
	その他(旅費交通費等)	141,250	141,250
	小 計	257,410	257,410
	間接経費(一般管理費)	22,440	21,590
	合 計	279,850	279,000